感動的なコングレスに

ＪＰＨＭＡコングレス

日本豊受自然農発表

多くの方が肝臓を患っている
松尾大会長、講演で示す

今回のコングレスは実に中身の濃いもので、全て取り上げることは紙面上不可能。ＪＰＨＭＡコングレスを検索して各発表者の中身を見て欲しい。実に力が入った発表であった。また、来賓講演も割愛させて頂きます。

松尾敬子大会長の講演

これまで様々な健康相談会を行って来て、予防接種や薬害の問題、環境の問題、心の問題など肝臓に影響を与える要因はたくさんあり、多くの方が肝臓を患っているとのことで、今回は肝臓の疾患のケースを取り上げた。

肝臓疾患による症状は、疲れ、不眠、頭痛、耳鳴り、口臭、視力障害、糖代謝、血圧の問題、怒り、イライラの心も問題、ホルモンやコレステロールなどの関係等多岐にわたります。

今回は肝臓疾患の3ケースに関して紹介。

ケース1は68歳女性のクライアント、主訴は肝臓疾患、胆石、ケース2は70歳女性のクライアント、主訴は肝臓疾患、だるさ、ケース3は73歳女性のクライアント、主訴は糖尿病。どの方も血液検査での肝臓の疾患を表す数値が基準値の数倍で大きく外れており、様々な症状を呈していました。

何回かの健康相談会を通してホメオパシーの肝臓、胆嚢、膵臓サポートに加えて、それぞれの方に適合したレメディーをとることで、どの方も肝臓の疾患を表す数値が基準値内、正常値になっていき、それとともに、体のだるさや鼻炎、浮腫、鼻炎、便秘、糖尿病や、心の自己否定感や落ち込み、悲しみ、イライラなど、体と心ともに明確に改善していきましたと発表した。

最後に松尾大会長と由井名誉会長は総評で次のように述べた。

松尾会長より「2日間に渡り、聞いていただきありがとうございます。今回、開催できたことをうれしく思います。皆様のおかげです。私たちにできることはたくさんあります。2日間で経験したことを自宅に持ち帰り、知ったことを行動にうつしてみてください。皆さんの症例発表も素晴らしかったです。ほんとうに感動的なコングレスでした。」

由井名誉会長より「つくづく植物たちは大きな愛を与えてくれています。植物たちの恩恵は計り知れないです。種は命の源、大地は命の命の源。連携して私たちの体を心を作ってくれています。今、植物に、土壌に危機が起こっています。今、私たちは動かなければなりません。立ち上がりましょう。植物、大地、土壌菌の恩恵に感謝し、私たちが生きていることに感謝していきましょう。」そして最後に「この2日間ありがとう。来年は22回目となります。またお会いしましょう。皆様ありがとうございます。」とコメントした。

菊田雄介さん

佐井明花さん

佐藤文子さん

佐藤美登里さん

井手麻子さん

道繁良さん

大阪順子さん

笈田祐友子さん

片山敦子さん

片山里美さん

竹内基幸さん

水野和子さん

印鑰さん

岡本祥子さん

工藤聖子さん

辛く苦しんだ人生から脱出
クライアントさんの体験発表

由井名誉会長のクライアントさんの体験発表は壮絶なものであった。それを紹介する。

私の記憶障害は数年前にある日突然始まりました。「頭が悪すぎる」と怒鳴られ、職場をクビになってしまいました。あまりの辛さにうつ状態に陥っていきました。

医師からは、「恐らく神経回路の変性による認知機能の障害だろう、原因は不明」と言われました。

幸運にも、由井先生の相談会とご縁をいただくことができ、ＺＥＮホメオパシーのメソッドによる治療で、これまで、当初からは考えられなかったような回復の道を辿ってきました。

私にとっては、由井先生は、地獄の底まで降りてきて手をさしのべてくださった菩薩のような存在です。

由井先生は、まず真っ先に、「よく今まで生きてきたね、よく相談会に来てくれたね」と、言葉のレメディを処方し、深い慈愛の気持ちで私の苦しみを受け止めてくださいました。

「いじめの原因となった顔中のにきび、優秀インチャ、魂の歪んだ価値観」「魂」を診ず「生命」を癒さず、「その人の人生」と向き合わない精神科」「両親から無条件の愛を与えられなかったこれまでの人生」

という過去の辛く苦しんだ人生について語り、ＺＥＮホメオパシーの哲学は私のトラブルの根本原因と、その治療方法を解き明かす画期的なものだったと言う。

「ＺＥＮメソッドの哲学で私の状況を振り返ると、八方ふさがりの状況の中で、なにが起こっていたのかがよく分かる。治療方法が示される。実際に状況が改善されていく。これはＺＥＮメソッドが本当に人間と向き合っている魂の治療だという証拠なのだと思います。それこそが、私の本当に出会いたかった治療であり、思春期の私が出会っていればどんなに救われただろう、と思う魂の治療でした」。

魔法のような体験

「一般的なセラピー、カウンセリング、レイキ、精神科、皮膚科、あるいは巷でホリスティック医療と言われているもの、そういった療法には、根本的な何かが欠けているのだと思います。それは人間という存在が神様の分霊であり、究極的には愛を目指している、という視点の欠落です。神様の創造物である私達は、心・体・魂の三位一体が揃って人間であり、霊性の向上を目指す存在なのです」。

「私は由井先生にいただいたコンビネーションレメディで、何週間も苦しんだ薬の副作用が一瞬でなくなったという、魔法のような体験もしています」。

「今になって、以前の相談会の質問票を読み返すと、日常生活もままならないような酷い状態から、確実に、良い方向に導かれています。改めて由井先生と、ＺＥＮメソッドとの出会いに感謝したいと思います。この素晴らしいＺＥＮメソッドがますます多くの人の救いになることを祈ります」。

グリホサート ガンを引き起こす
ジェフリー・スミス監督

ジェフリー・スミス監督

ジェフリー・スミス監督（遺伝子組み換え問題の専門家）映画『遺伝子組み換えルーレット』を制作されたジェフリー・スミス監督による発表は驚愕の内容だった。

ジェフリー氏は遺伝子組み換え食品とラウンドアップ除草剤の危険性について24年にも渡り調査。

ほとんどのＧＭＯにはラウンドアップ除草剤が使用されているそうで、その使用量の増加に比例しアメリカでは、炎症性腸疾患、様々ながん、腎障害、Ｃ型肝炎、自閉症、糖尿病、痴呆、アルツハイマー、パーキンソン、肥満、高血圧、貧血、不眠、睡眠障害、先天性欠損症、リポタンパク質代謝障害、不安、薬剤過剰摂取による自殺、統合失調症、ＡＤＨＤ等の様々な疾患が増加していることが明白にグラフによって示された。

ラウンドアップ除草剤の主毒成分はグリホサート。

グリホサートは重要なミネラルを枯渇させてしまい、それによって、消化器系にダメージを与え、ミトコンドリア（体のエネルギーセンター）に有害であり、先天性欠損症を引き起こし、内分泌かく乱剤として作用、また、肝機能を損ない解毒を阻害し、「漏れやすい脳」「漏れやすい臓器」を引き起こすと説明。

そういったグリホサートの影響による疾患は、それを損った代よりもひ孫の代で最も深刻だったことがマウスの実験で明らかになったと言う。

また、３０１５年３月、ＷＨＯの国際がん研究機関によって、グリホサートは動物にガンを引き起こすと明言し、人体での研究が十分ではないものの、ヒトに対しても発がん性をもつ可能性を指摘されている。

また、バイエル社所有のモンサント社はグリホサートによる健康被害で多くの訴訟となっており、発がん性が認められ、またその証拠の隠ぺいをしたとして、有罪判決を受けている。

ゲノム編集は現在では安価な価格で行うことが可能なため、植物のほか、藻類、動物、昆虫まであらゆる生物において行われているのだと語った。

ジェフリー氏は、ＧＭＯは一旦環境に放出されてしまえば、『自然を取りかえる』ことになる世界的な脅威なのだと警鐘を鳴らし、実際に、10年前にＧＭＯの蚊の放出を一旦は止める働きかけをしたものの、最近再びＧＭＯの蚊の放出が承認されてしまった。

ＧＭＯのバクテリアまでつくられており、新型コロナウイルスのパンデミックが現実になった今、ＧＭＯのバクテリアが世界に広まることは明明白白。それは、陸上植物の寿命を終わらせ、気象にも影響を与えることになるとジェフリー氏は語る。

人間は、居心地よくあろうとするためだけに安易にＧＭＯを世に出そうとするが、それが人間にも生態系全体にも次の世代にも影響を与えるのだという意識が小さいとも語っていた。